

2009年度第1四半期  
決算説明資料

2009年8月4日

旭化成株式会社

## 1. 2009年度第1四半期実績

主要決算数値 P4

連結損益計算書 P5

連結貸借対照表 P6

連結キャッシュ・フロー計算書 P7

セグメント別売上高・営業利益 P8～10

## 2. 2009年度上期予想

2009年度上期の業績予想 P12

セグメント別売上高 P13

セグメント別営業利益 P14

## 3. 参考資料

セグメント別業績推移 P16～17

セグメント別概況 P18～26

# 1. 2009年度第1四半期実績

# 主要決算数値

(億円)

	08年度		09年度		1Q実績(対前年同期)	
	1Q	上期	1Q	上期 (予想)*	増減額	増減率
売上高	3,860	8,432	2,893	6,190	-966	-25.0 %
営業利益	194	401	-3	50	-197	-
経常利益	212	407	-17	40	-230	-
四半期純利益	135	234	-17	0	-152	-

\* 2009年5月時点の予想。

## <前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ: ¥/kl)	70,900	78,350	33,300	30,000
為替レート (相場平均: ¥/US\$)	105	106	97	95

	09/3月末	09/6月末	増減
総資産	13,793	13,997	204
自己資本	6,038	6,105	67
有利子負債残高	3,156	3,327	171
D/Eレシオ	0.52	0.55	0.03

# 連結損益計算書

(上段:百分率、% 下段:金額、単位億円)

	08年度1Q	09年度1Q	増減	増減率(%)
売上高	100.0% 3,860	100.0% 2,893	-966	-25.0
売上原価	76.6% 2,956	77.8% 2,252	-704	-23.8
売上総利益	23.4% 904	22.2% 642	-262	-29.0
販管費	18.4% 710	22.3% 645	-65	-9.1
営業利益	5.0% 194	-0.1% -3	-197	-
営業外損益	18	-14	-33	
(内、金融収支)	( 6 )	( 2 )	( -4 )	
(内、持分法投資損益)	( 4 )	( -6 )	( -10 )	
経常利益	5.5% 212	-0.6% -17	-230	-
特別損失	-6	-13	-7	
税前利益	5.4% 207	-1.0% -30	-237	-
法人税等	-69	12	81	
少数株主損益	-3	1	4	
四半期純利益	3.5% 135	-0.6% -17	-152	-

# 連結貸借対照表

AsahiKASEI

(億円)

	09/3月末	09/6月末	増減		09/3月末	09/6月末	増減
流動資産	6,822	6,746	-76	負債	7,680	7,816	137
現金及び預金	980	754	-225	流動負債	4,879	4,979	100
受取手形及び売掛金	2,089	2,230	141	固定負債	2,801	2,838	37
棚卸資産	2,735	2,862	127	純資産	6,114	6,181	68
その他	1,018	900	-118	株主資本	5,991	5,929	-62
固定資産	6,971	7,251	280	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,413	4,561	148	資本剰余金	794	794	-0
無形固定資産	374	404	30	利益剰余金	4,183	4,121	-62
投資その他の資産	2,185	2,286	101	自己株式	-19	-20	-0
				評価・換算差額等	47	176	129
				少数株主持分	75	76	1
資産合計	13,793	13,997	204	負債純資産合計	13,793	13,997	204

# 連結キャッシュ・フロー計算書

AsahiKASEI

(億円)

	08/1Q	09/1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー①	48	-28
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-405	-242
フリー・キャッシュフロー③(①+②)	-357	-270
財務活動によるキャッシュ・フロー④	403	37
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	-28	3
現金及び現金同等物の減少額⑥(③+④+⑤)	17	-231
現金及び現金同等物の期首残高⑦	830	981
非連結子会社の連結化に伴う増加額⑧	-	4
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧)	848	754

# セグメント\*別売上高・営業利益

AsahiKASEI

(億円)

	売上高			営業利益		
	08/1Q <sup>†</sup>	09/1Q	増減	08/1Q <sup>†</sup>	09/1Q	増減
ケミカル	1,950	1,329	-620	62	22	-40
住宅	637	585	-52	-37	-30	8
医薬・医療	346	285	-61	90	31	-59
繊維	307	224	-83	11	-15	-26
エレクトロニクス	396	315	-80	68	-6	-74
建材	147	116	-30	3	-0	-4
サービス・エンジニアリング等	77	39	-38	13	4	-9
消去又は全社	-	-	-	-16	-10	6
合計	3,860	2,893	-966	194	-3	-197

\* 09/1Q決算より一部セグメント名称を以下の通り変更。(次ページ以降同様)

(従来) ケミカルズ → (新) ケミカル (従来) ファーマ → 医薬・医療  
ホームズ → 住宅 せんい → 繊維

† 08/1Qは、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維へ移管。

# セグメント別売上高増減要因(08/1Q vs. 09/1Q) **AsahiKASEI**

(億円)

	08/1Q*	09/1Q	数量差	売値差	その他差		計	<参考> 08/4Q*
					うち為替因			
ケミカル	1,950	1,329	-273	-308	-18	-40	-620	1,104
住宅	637	585	-50	-2	-	0	-52	1,275
医薬・医療	346	285	15	-11	-9	-65	-61	272
繊維	307	224	-59	-24	-8	0	-83	242
エレクトロニクス	396	315	-76	-27	-8	22	-80	198
建材	147	116	-36	6	-	0	-30	129
サービス・ エンジニアリング等	77	39	-38	0	0	0	-38	80
合 計	3,860	2,893	-518	-365	-43	-83	-966	3,301

\* 08/1Q、4Qは、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

- ①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、ケミカルのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。
- ②ケミカルのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維へ移管。

# セグメント別営業利益増減要因(08/1Q vs. 09/1Q) **AsahiKASEI**

(億円)

	08/1Q*	09/1Q	数量差	売値差	うち為替因	コスト差等	計	<参考> 08/4Q*
ケミカル	62	22	-34	-308	-18	302	-40	-173
住宅	-37	-30	-18	-2	-	28	8	111
医薬・医療	90	31	18	-11	-9	-66	-59	-9
繊維	11	-15	-12	-24	-8	9	-26	-23
エレクトロニクス	68	-6	-29	-27	-8	-18	-74	-66
建材	3	-0	-12	6	-	3	-4	-2
サービス・ エンジニアリング等	13	4	-9	0	0	0	-9	15
消去又は全社	-16	-10	-	-	-	6	6	-5
合計	194	-3	-97	-365	-43	265	-197	-151

\* 08/1Q、4Qは、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維へ移管。

## 2. 2009年度上期予想

# 2009年度上期の業績予想

(億円)

	08年度			09年度上期予想			増減 b-a	09年度 当初予想*		増減 b-c
	上期 a	下期	計	1Q	2Q 予想	b		上期 c	計	
売上高	8,432	7,099	15,531	2,893	3,617	6,510	-1,922	6,190	13,550	320
営業利益	401	-52	350	-3	53	50	-351	50	410	-
経常利益	407	-82	325	-17	52	35	-372	40	390	-5
当期純利益	234	-187	47	-17	17	0	-234	0	150	-

\* 2009年5月時点の予想。

<前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ:¥/kl)	78,350	39,500	58,925	33,300	42,000	37,650	-40,700	30,000	30,000	7,650
為替レート (相場平均:¥/US\$)	106	95	101	97	95	96	-10	95	95	1

	08年度	09年度(予定)		
		上期	下期	計
一株当たり配当金	10円	5円	5円	10円

# セグメント別売上高

AsahiKASEI

(億円)

	08年度*			09年度			増減 b-a	09/上 当初予想†	増減 b-c
	1Q	2Q	上 a	1Q	2Q 予想	上予想 b			
ケミカル	1,950	2,272	4,221	1,329	1,451	2,780	-1,441	2,380	400
住宅	637	1,066	1,703	585	995	1,580	-123	1,620	-40
医薬・医療	346	282	628	285	285	570	-58	570	-
繊維	307	334	641	224	306	530	-111	560	-30
エレクトロニクス	396	391	787	315	375	690	-97	630	60
建材	147	166	313	116	134	250	-63	300	-50
サービス・エンジニアリング等	77	62	139	39	71	110	-29	130	-20
合計	3,860	4,572	8,432	2,893	3,617	6,510	-1,922	6,190	320

\* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーテリアルズ(株)設立に伴い、ケミカルのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルのパイロン66繊維「レオナ™」を繊維へ移管。

† 2009年5月時点の予想。

# セグメント別営業利益

AsahiKASEI

(億円)

	08年度*			09年度			増減 b-a	09/上 当初予想† c	増減 b-c
	1Q	2Q	上 a	1Q	2Q 予想	上予想 b			
ケミカル	62	69	131	22	28	50	-81	60	-10
住宅	-37	68	30	-30	40	10	-20	10	-
医薬・医療	90	12	102	31	4	35	-67	30	5
繊維	11	2	13	-15	-20	-35	-48	-25	-10
エレクトロニクス	68	58	126	-6	26	20	-106	10	10
建材	3	5	8	-0	0	0	-8	5	-5
サービス・エンジニアリング等	13	18	31	4	6	10	-21	5	5
消去又は全社	-16	-24	-40	-10	-30	-40	-0	-45	5
合計	194	207	401	-3	53	50	-351	50	-

\* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維へ移管。

† 2009年5月時点の予想。

# 3. 参考資料

# セグメント別売上高推移

(億円)

	08年度*				09年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q 予想
ケミカル	1,950	2,272	1,567	1,104	1,329	1,451
住宅	637	1,066	1,121	1,275	585	995
医薬・医療	346	282	296	272	285	285
繊維	307	334	281	242	224	306
エレクトロニクス	396	391	312	198	315	375
建材	147	166	167	129	116	134
サービス・エンジニアリング等	77	62	54	80	39	71
合 計	3,860	4,572	3,798	3,301	2,893	3,617

\* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーテリアルズ(株)設立に伴い、ケミカルのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維へ移管。

# セグメント別営業損益推移

AsahiKASEI

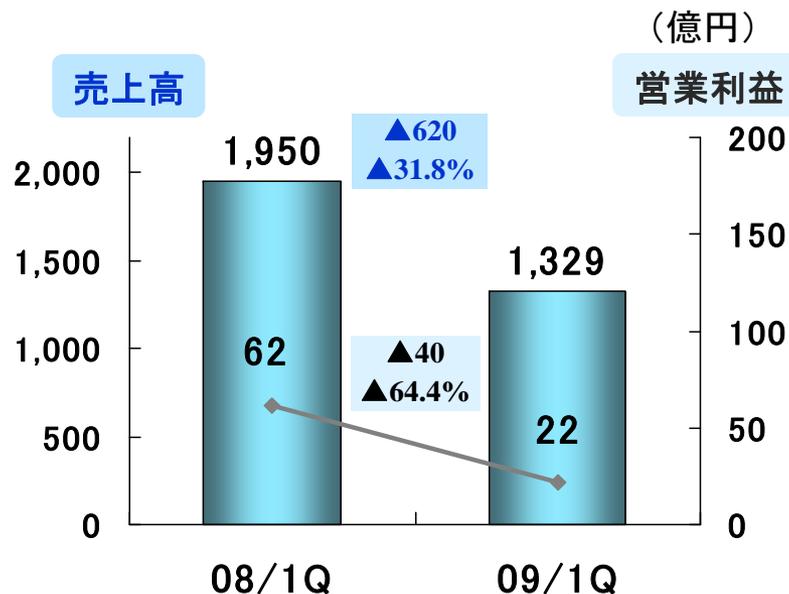
(億円)

	08年度*				09年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q 予想
ケミカル	62	69	-23	-173	22	28
住宅	-37	68	78	111	-30	40
医薬・医療	90	12	28	-9	31	4
繊維	11	2	-5	-23	-15	-20
エレクトロニクス	68	58	12	-66	-6	26
建材	3	5	10	-2	-0	0
サービス・エンジニアリング等	13	18	10	15	4	6
全社・消去	-16	-24	-11	-5	-10	-30
合 計	194	207	99	-151	-3	53

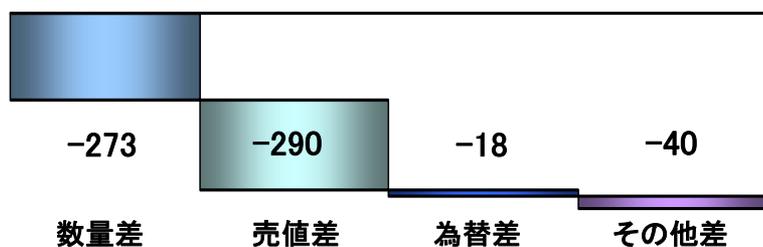
\* 08年度は、09年4月1日付の以下の事業移管を反映させて組み替えた後の金額。

①旭化成イーマテリアルズ(株)設立に伴い、持株会社の実装・表示材料マーケティングセンター等電子材料の研究開発と、ケミカルのリチウムイオン2次電池用セパレータ「ハイポア™」、感光性樹脂、エポキシ等の事業をエレクトロニクスセグメントへ移管。

②ケミカルのナイロン66繊維「レオナ™」を繊維へ移管。



## 売上高増減分析



## 営業利益増減分析



## <概況>

### ・汎用系事業

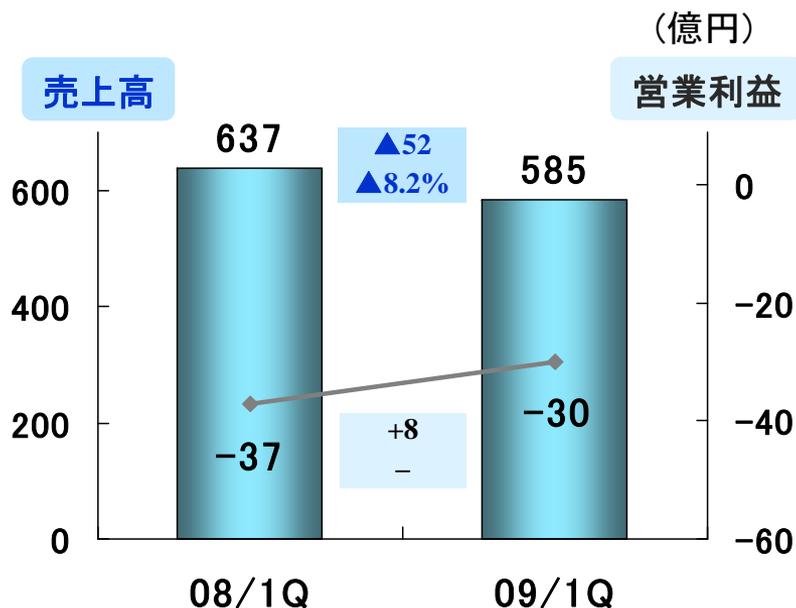
モノマー系事業・ポリマー系事業ともに、原燃料価格の下落に伴う製品価格の下落や市場環境の悪化による販売数量の減少などにより、前年同期比減収、減益となった。

### ・高付加価値系事業

市場環境の悪化による販売数量の減少などにより、前年同期比減収、減益となった。

## <トピックス>

- ・木質バイオマス発電設備の新設を決定。(4月)
- ・鈴鹿市と災害時飲料水等供給の協定を締結。(4月)
- ・(株)三菱ケミカルホールディングスとの水島地区エチレンセンター統合に関する検討について発表。(6月)
- ・アジア最大規模のフィリピンの膜式水道浄水設備に水処理用中空糸ろ過膜「マイクロザ™」の採用が決定。(6月)
- ・タイ国でのアセトニトリル事業化検討に関する覚書を締結。(6月)



## 事業別増減分析

	08/1Q		09/1Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負	444	/	379	/	-65	/
分譲	26	/	26	/	0	/
他	2	/	3	/	1	/
小計	472	-49	408	-44	-64	6
住宅周辺	165	12	177	14	12	2
合計	637	-37	585	-30	-52	8

※上記事業別業績数値は参考情報として簡便計算で算出した。

## <概況>

- ・建築請負事業において戸建住宅「ヘーベルハウス™」の引渡戸数が減少したものの、リフォーム事業などの住宅周辺事業が堅調に推移したことや、固定費の削減に努めたことなどから、前年同期比減収ながらも営業損失改善となった。
- ・建築請負事業の受注高は、厳しいマクロ環境の下、相対的に健闘し、前年同期比1.1%の減少に留まった。

## <トピックス>

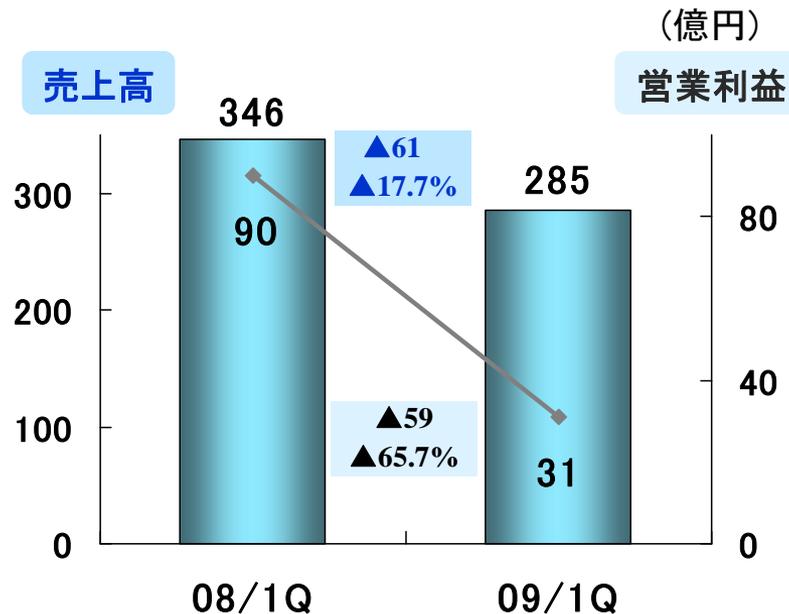
- ・高性能・シンプルプランで求めやすい価格の「スマートヘーベルハウス™」を発売。(5月)
- ・旭化成(株)および旭化成ケミカルズ(株)との共同研究による高耐久・高性能光触媒塗装「デュラ光™」を発売。(7月)

# 住宅／売上高、受注高の状況

(単位: 億円、( )内は対前年同期比)

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高	他*	単独計	関係会社等	連結計	受注残
05	上期	1,504 (▲1.7%)	1,402 (0.9%)	205 (213.0%)	4	1,611 (10.4%)	242 (13.8%)	1,853 (10.8%)	3,204
	下期	1,629 (9.5%)	1,793 (4.3%)	131 (▲3.6%)	6	1,930 (3.8%)	262 (16.4%)	2,192 (5.1%)	3,040
	通期	3,133 (3.8%)	3,194 (2.8%)	336 (67.0%)	11	3,541 (6.7%)	504 (15.1%)	4,045 (7.7%)	
06	上期	1,561 (3.7%)	1,347 (▲3.9%)	60 (▲70.9%)	5	1,411 (▲12.4%)	280 (15.7%)	1,691 (▲8.7%)	3,253
	下期	1,473 (▲9.6%)	1,829 (2.0%)	230 (75.8%)	5	2,064 (6.9%)	302 (15.3%)	2,366 (7.9%)	2,898
	通期	3,034 (▲3.2%)	3,176 (▲0.6%)	289 (▲13.8%)	10	3,475 (▲1.9%)	582 (15.5%)	4,057 (0.3%)	
07	上期	1,536 (▲1.5%)	1,312 (▲2.6%)	50 (▲16.5%)	4	1,366 (▲3.2%)	303 (8.2%)	1,669 (▲1.3%)	3,123
	下期	1,525 (3.5%)	1,659 (▲9.3%)	195 (▲15.1%)	5	1,860 (▲9.9%)	333 (10.3%)	2,193 (▲7.3%)	2,988
	通期	3,061 (0.9%)	2,971 (▲6.5%)	245 (▲15.4%)	10	3,225 (▲7.2%)	637 (9.5%)	3,862 (▲4.8%)	
08	1Q	773 (▲3.0%)	444 (▲4.7%)	26 (196.2%)	2	472 (▲0.9%)	165 (12.2%)	637 (2.2%)	3,317
	2Q	798 (7.9%)	850 (0.5%)	34 (▲17.5%)	4	888 (▲0.1%)	178 (14.1%)	1,066 (1.9%)	3,266
	上期	1,571 (2.3%)	1,294 (▲1.4%)	60 (19.7%)	7	1,360 (▲0.4%)	343 (13.2%)	1,703 (2.0%)	
	下期	1,339 (▲12.1%)	1,779 (7.2%)	240 (22.8%)	9	2,027 (9.0%)	369 (10.8%)	2,396 (9.3%)	2,826
	通期	2,911 (▲4.9%)	3,073 (3.4%)	299 (22.2%)	15	3,387 (5.0%)	712 (11.8%)	4,099 (6.1%)	
09	1Q	764 (▲1.1%)	379 (▲14.6%)	26 (0.0%)	3	408 (▲13.5%)	177 (7.2%)	585 (▲8.2%)	3,211
	2Q予	776 (▲2.9%)	776 (▲8.7%)	34 (1.0%)	7	817 (▲8.0%)	178 (0.0%)	995 (▲6.6%)	3,211
	上予	1,540 (▲2.0%)	1,155 (▲10.7%)	60 (0.0%)	10	1,225 (▲9.9%)	355 (3.5%)	1,580 (▲7.2%)	

\* 他: 損害保険販売手数料収入等



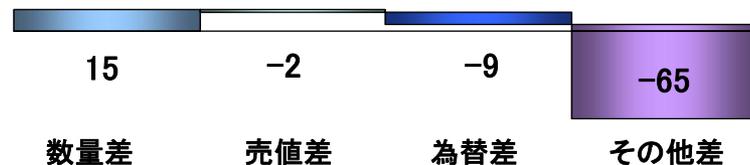
## <概況>

医薬事業において、排尿障害改善剤「フリバス<sup>TM</sup>」が販売数量を伸ばしたものの、ライセンス収入が大幅に減少したことや、医療事業において、ウイルス除去フィルター「プラノバ<sup>TM</sup>」などが海外向け販売量を伸ばしたものの、為替変動の影響を受けたことなどから、前年同期比減収、減益となった。

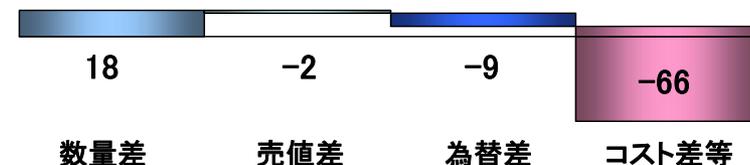
## <トピックス>

- ・ウイルス除去フィルター「プラノバ<sup>TM</sup>」の新紡糸工場竣工。(4月)
- ・排尿障害改善剤「フリバス<sup>TM</sup>」の韓国におけるライセンス契約の締結。(4月)
- ・白血球除去フィルター「セパセル<sup>TM</sup>」の新工場竣工。(4月)
- ・コエンザイムQ10製造・販売などの特薬事業からの撤退を決定。(5月)
- ・透析事業を行っているネクステージメディカル社との事業提携契約の締結。(5月)
- ・バイオ医薬品向け合成高分子新膜のウイルス除去フィルター「Planova<sup>TM</sup> BioEX」の発売。(6月)

### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析



(億円)

		08年度		09年度
		1Q	上期	1Q
医薬系	医薬	184	304	136
	その他	26	54	22
	計	210	358	158
医療系*		136	270	127
医薬・医療 計		346	628	285

\* 旭化成クラレメディカル、旭化成メディカル、及びその関係会社の合計。

## <主要医薬品の国内売上高>

	08年度		09年度
	1Q	上期	1Q
エルシトニン™	33	68	37
ブレディニン™	16	31	17
フリバス™	22	45	35
トレドミン™	15	29	13
エクサシン™	2	4	2
ゼスラン™	3	5	3
エリル™	4	7	4

	品目	区分	剤名	適応症
フェーズⅢの品目	①AT-877注	適応拡大	(ローキナーゼ阻害剤)	脳梗塞急性期
	②PTH注	新成分新薬	(副甲状腺ホルモン)	骨粗鬆症
フェーズⅢ準備中	①AK-120錠	適応拡大	(抗ヘルペスウィルス剤)	単純疱疹
フェーズⅡの品目	①AT-877錠	適応拡大 剤型追加	(ローキナーゼ阻害剤)	肺高血圧症
フェーズⅡ準備中	①AK-150注	新成分新薬	(ポリ硫酸ペントサン)	変形性関節症

## 探索・基礎研究

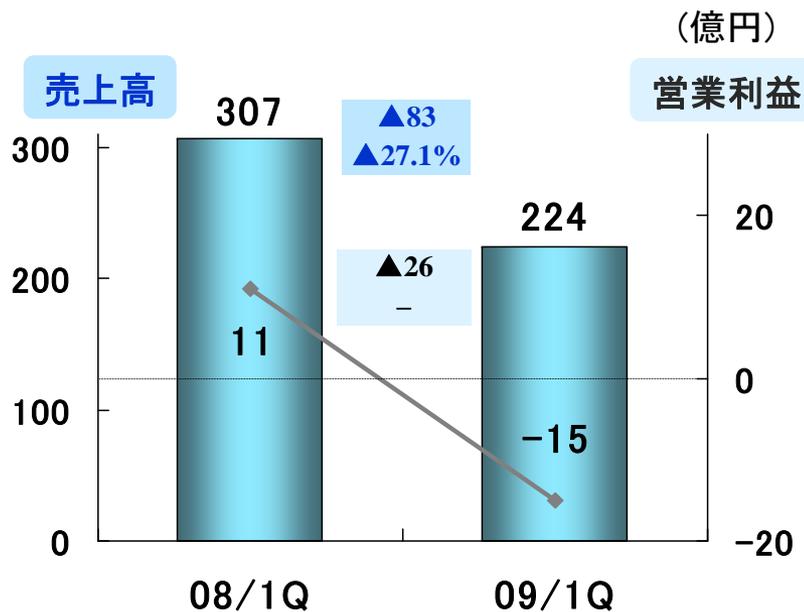
成熟化・高齢化社会で高まる医療ニーズを解決するために整形外科領域や泌尿器領域を中心に積極的に活動しています。今後共、医療ニーズをいち早く捉え解決するために研究開発対象や自社技術を絶えず革新するとともに、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進します。

## <概況>

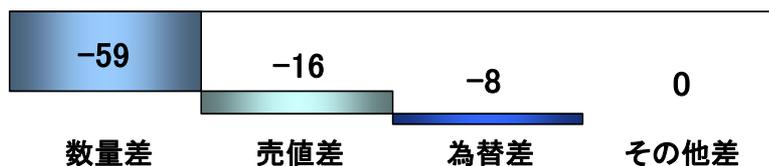
ポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」が海外における市場環境の悪化による価格下落や販売量の減少の影響を強く受けたことに加え、再生セルロース繊維「ベンベルグ™」の海外向けや、ナイロン66繊維「レオナ™」のタイヤコード向け販売量が減少したことなどから、前年同期比減収、減益となった。

## <トピックス>

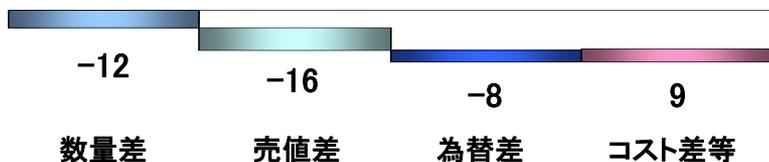
- ・帝人ファイバー(株)とのPTT繊維事業合併会社ソロテックス(株)の解散を決定。(7月)



### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析

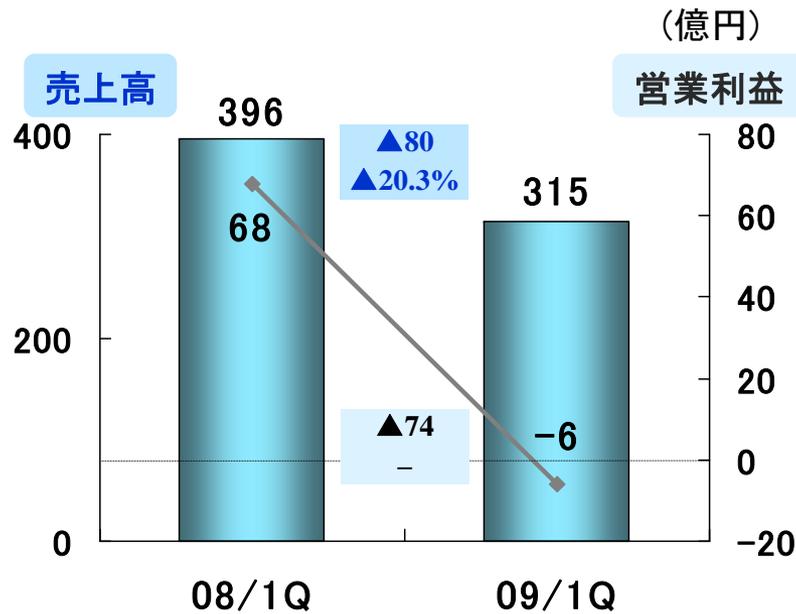


## <概況>

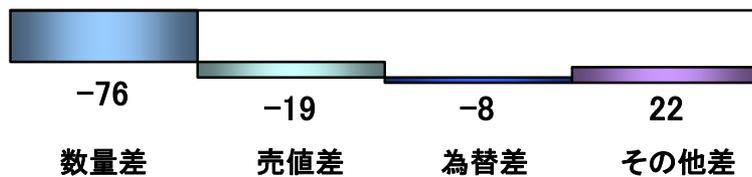
昨年度後半から悪化していたエレクトロニクス業界全般の市場環境が期初より回復基調にあったものの、電子部品系事業のLSI、ホール素子や、電子材料系事業の各製品の販売量が減少したことなどから、前年同期比減収、減益となった。

## <トピックス>

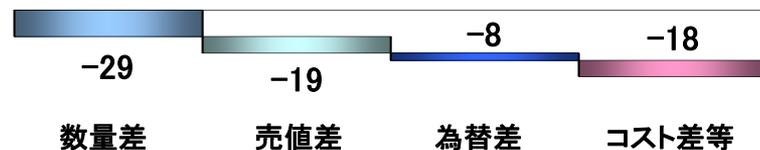
- ・東光(株)より半導体事業を譲受け。(4月)

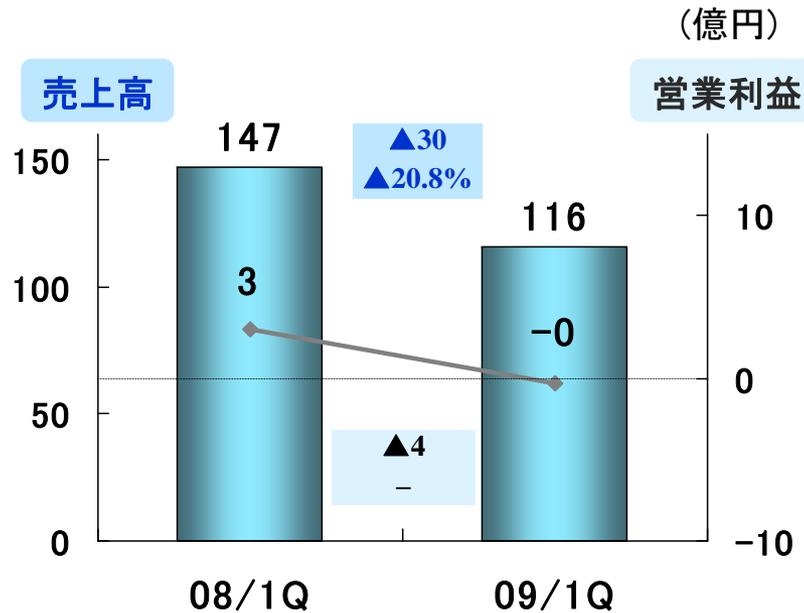


### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析





## <概況>

建築着工数の減少により、軽量気泡コンクリート「ヘーベル<sup>TM</sup>」系製品や基礎杭製品の販売量が減少したことなどから、前年同期比減収、減益となった。

## <トピックス>

- ・軽量気泡コンクリート白老工場の閉鎖を決定。(5月)

### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析



## 業績予想の適切な利用に関する説明、 その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。